

編集会議 VISIONと今後の方針

VISION

1. 自動車技術を扱う日本で唯一の学会として、『世界の自動車技術会』『技術分野の拡大と世代を越えた情報発信』『時代に合った情報発信方法の探求』をキーワードとした出版活動を行う。
2. 国内外の有用な情報を出版物を通して提供し、会員満足度向上と社会への貢献につなげると共に、質の高い学術著作物を安定的に多数世に送り出し、自動車技術を扱うグローバルな学術団体となる。

今後の方針

全ての編集、出版活動をVISIONに沿ったものとする

【刊行物別】

- ①<会誌>記事の多様化および編集の迅速化により、自動車技術情報誌として、会員の要望に応え、また先取りする会誌とする
- ②<論文集>掲載件数を漸増させる方策検討。投稿から掲載までの工学系学会で最速を目指す。
- ③<IJAE> Impact Factor を取得する。質の高い論文が多く載るジャーナルとする。
- ④<抄録誌>Webの活用、収録内容の見直し等により、より活用される、文献抄録DBへの転換を図る

【その他】

- ・学術著作物の会員への還元について広く検討する
- ・他会議体と連携し、旬な技術を扱う書籍の発刊を進める
- ・出版物販売ウェブサイトのユーザビリティ向上を図り、購入動機により結びつくサイトとする

2020

2025

2030

2035

2040

2045 2050

1. 自動車技術を扱う日本で唯一の学会として、「世界の自動車技術会」「技術分野の拡大と世代を越えた情報発信」「時代に合った情報発信方法の探求」をキーワードとした出版活動を行う。
2. 国内外の有用な情報を出版物を通して提供し、会員満足度向上と社会貢献につなげると共に、質の高い学術著作物を安定的に多数世に送り出し、自動車技術を扱うグローバルな学術団体となる。

●各編集委員会と編集会議で具現化方策の立案

●出版物を通じて会員満足度が一層向上する

●自動車関連技術の情報発信基地として世界中からコンタクトされるようになる

会誌

■「自動車技術会の顔」「より読まれる会誌」を念頭に、記事の多様化と鮮度の高い情報発信を図る

- ・記事の多様化
- ・鮮度の高い情報発信

- ・議論・対策後、電子化を実施

- 全会員に行き渡る充実した技術情報誌に会員満足度が向上する
- 自動車技術情報を扱う雑誌として各方面からより注目されるようになる

論文集

■ [和文] 掲載件数の漸増、及び投稿～掲載までの期間を短縮する

- ・J-STAGE公開後、広い技術領域から投稿を募る
- ・投稿～掲載までの期間短縮

- 年間論文掲載数 1.5倍となる(対2017)

■ [英文] 国際認知度向上と掲載件数の増加を図る

- ・Impact Factor 取得

- 国際認知度とImpact Factor が向上する。
- 年間論文掲載数が2倍となる(対2017)

- 年間論文掲載数が5倍となる(対2017)

抄録誌

■ 世界の自動車技術動向を知り、最新情報を得ることのできる自動車技術文献DBへの転換を図る

- ・抄録誌のあり方を再定義
- 過去10万件のデータを含む世界の自動車技術文献抄録を収録したDBとして広く活用される

Webマガジン

■ Webを活用した技術情報発信手段の一つのモデルとする

- ・現在のWebマガジンの形を継続しつつ新たな展開を検討

- 他の技術分野への拡大も視野に、技術者・研究者向けの技術情報Webマガジンとしてより多くの読者を得る

その他活性化

■ 取り扱う技術分野の拡大と多様な世代を対象とした情報の発信

- ・ハンドブックをはじめとした工学図書の継続出版・改訂
- ・他の会議体と連携した書籍の発行
- ・学術著作物の会員への還元
- ・出版社とタイアップした刊行物の検討
- ・表彰制度の拡充検討
- ・より購入動機に結び付く販売サイトのユーザビリティ向上

- ・自動翻訳による著作物の迅速な国際公開